

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学附属病院・小児腫瘍内科では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2021年4月 福島県立医科大学附属病院 小児腫瘍内科 佐野 秀樹

【研究課題名】

小児・AYA 世代悪性固形腫瘍に対するテモゾロミド併用化学療法の治療効果予測因子としてのMGMTの有用性についての検討

【研究期間】2021年4月（倫理委員会承認後）～2026年1月3日

【研究の意義・目的】

この研究の目的は、小児・AYA 世代悪性固形腫瘍においてMGMTの免疫染色やプロモーター領域のメチル化PCRによりテモゾロミド併用化学療法の治療効果が予測できるかを調べることです。

【研究の対象となる方】

2000年1月から2020年12月までに福島県立医科大学附属病院または下記の研究代表機関及び共同研究機関で診断された小児・AYA 世代悪性固形腫瘍（骨肉腫やユーイング肉腫など）の患者さんを対象とします。

【研究の方法】

パラフィン標本を用いてMGMT抗体を用いた免疫染色を施行してMGMTを発現している細胞の割合を調べます。また、凍結標本やパラフィン標本に含まれるDNAという物質を取り出し、MGMT遺伝子プロモーター領域のPCRを行い、メチル化されているかどうかを調べます。MGMT発現細胞の割合やプロモーター領域のメチル化がテモゾロミド併用化学療法の治療効果、再発の割合や生存の割合に関係しているかを解析します。さらに、遺伝子プロモーター領域のメチル化以外にMGMTタンパク発現を調節しているメカニズムについても検討します。

【本学担当者】

（所属）小児腫瘍内科	（職）准教授	（氏名）佐野 秀樹
（所属）小児腫瘍内科	（職）教授/部長	（氏名）菊田 敦
（所属）小児腫瘍内科	（職）講師	（氏名）望月 一弘
（所属）小児腫瘍内科	（職）学内講師	（氏名）小林 正悟
（所属）小児腫瘍内科	（職）助教	（氏名）大原 喜裕
（所属）小児腫瘍内科	（職）助手	（氏名）高橋 信久
（所属）小児腫瘍内科	（職）病院助手	（氏名）工藤 新吾

【研究代表機関・研究代表者】

（機関）京都大学大学院医学研究科 発達小児科学
（氏名）梅田 雄嗣

【共同研究機関・研究責任者】

（機関）静岡県立こども病院 血液腫瘍科
（氏名）渡邊 健一郎

（機関）兵庫県立こども病院 血液・腫瘍内科
（氏名）長谷川 大一郎

（機関）聖路加国際病院 小児科

(氏名) 細谷 要介

(機関) 福島県立医科大学附属病院 小児腫瘍内科
(氏名) 佐野 秀樹

(機関) 神戸大学大学院医学研究科 小児科学
(氏名) 植村 優

(機関) 国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科
(氏名) 荒川 歩

【他の機関等への試料等の提供について】

①提供先の研究機関名と研究責任者の氏名

(機関) 京都大学大学院医学研究科 発達小児科学
(氏名) 梅田 雄嗣

②提供する試料・情報の項目

- 検体：手術検体・過去に取り出された腫瘍組織の病理標本など（診療または他の研究で使用した余りの検体で、この研究のために新たに採取することはありません。）
- カルテ情報：診断名、年齢、性別、治療経過、血液検査結果など

③提供方法

臨床情報調査票（電子ファイル）は、研究代表者へ USB にて郵送し提供します。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学附属病院 小児腫瘍内科 担当 佐野 秀樹
電話:024-547-1437 FAX: 024-547-1443
E-mail: s-hideki@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学附属病院 小児腫瘍内科 担当 佐野 秀樹
電話:024-547-1437 FAX: 024-547-1443
E-mail: s-hideki@fmu.ac.jp